

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和6年度 入間市公民館運営審議会（第1回）
開 催 日 時	令和6年7月3日（水） 午前10時00分 開会 ・ 午前11時00分 閉会
開 催 場 所	教育センター 3階 会議室
議 長 氏 名	西澤裕子
出席委員(者)氏名	森田匠 伊與田麻利 西澤裕子 塚原とみ子 双木茂芳 岡崎幸子 木下英次 小山輝久 開坂武
欠席委員(者)氏名	中西一敏
説明者の職氏名	社会教育課主幹 奥村芳人
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 新委員委嘱状交付 3 新委員自己紹介 4 委員長あいさつ 5 事務局紹介 6 協議事項 ・世代間交流（多世代交流）による地域活動の推進について 7 報告事項 (1) 令和5年度公民館事業報告について (2) 令和6年度公民館事業計画について 8 その他 9 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	1 入間市公民館運営審議会委員名簿・事務局名簿 2 協議事項 世代間交流（多世代交流）による地域活動の推進について 3 令和5年度 公民館事業報告総括表 4 令和6年度 公民館事業計画総括表 5 令和5年度 各地区公民館事業報告書 6 令和6年度 各地区公民館事業計画書
事務局等職員職氏名	教育部部長 浅見泰志、教育部次長 佐藤政史、 社会教育課長 浅川英雄、主幹 奥村芳人、主事 山本絵実、 主事 岩崎楓
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○概要

下記の点について事務局より説明を行う。内容について運営審議委員より確認等のある場合は、質疑応答を行う。

今回審議において特に議決すべき案件はなく、委員及び事務局との間の質疑応答と各委員の意見提出のみが行なわれた。

(質疑応答の詳細については、会議録(3)による)

(1) 協議事項

世代間交流(多世代交流)による地域活動の推進について

(2) 報告事項

令和5年度公民館事業報告について

令和6年度公民館事業計画について

(3) その他

次回会議は、世代間交流(多世代交流)による地域活動で参考になる団体やサークルの代表に事例紹介をいただく。事例紹介団体は事務局が調整する。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
西澤議長 (黒須公民館)	※委員発言が行われた部分のみ記述する。 本日の出席委員は 9 名で会議は成立する。それでは、協議事項「世代間交流（多世代交流）による地域活動の推進について」事務局から説明願う。
奥村主幹	(「世代間交流（多世代交流）による地域活動の推進について」説明) 協議前に、西澤議長より高倉スマイル広場の多世代交流について、設立のきっかけと状況について紹介願う。
西澤議長 (黒須公民館)	2020 年 1 月に設立した「高倉スマイル広場」という地域活動の代表を務めている。きっかけは、25 年前に身内に不幸があり、大学を卒業した若者が我が家に集まってきたことである。工芸教室を始め、60 代、70 代の方々と若者が 1 つのテーブルを囲み、1 つの話題で話をしていた。その状況を目にし、多世代交流が必要だと感じた。この思いを高倉公民館長に話し、館長は人をコーディネートする公民館の役割として、若者からお年寄りまで様々な方が来る公民館で「高倉スマイル広場」という運営委員会を設立した。 70 歳近くの私が組織を立ち上げても、その組織は衰退すると考えた。一応私が代表を務め、50 代の副代表が 2 名。高倉小学校の子どもたちを中心に、高倉の多世代の人々が集まる場所をつくるという思いで始めた。 子どもたちを中心に、「食のチーム（子ども食堂）」「遊びのチーム」を組織した。チームリーダーには、遊びのチームが 30 代、食のチームが 40 代。去年は地域の方々が約 240 名来場し、今年 5 月は、200 名以上が来場した。子ども食堂ネットワークから補助金として 5 千円いただいたが、それ以外の資金は何もなかった。皆で話し合い、全員が納得して前に進むという方針を持っている。 30 代から 70 代のメンバーが、子どもたちにとってどうあるべきか、何をすべきか、そして地域の人々に対して何が最善かを常に話し合いながら、4 年歩んできた。2020 年は、新型コロナウイルスが流行し、皆で話し合い、知恵を出し合った。新型コロナウイルスが終息するまでは、子どもたちの遊び道具を作ったり、食に関しては、家族で作れるものを決め、プレゼントをしたりした。今は子ども食堂を行い、地域の方に協力いただいている。 今年の夏の開催は、地域のハンドメイドの方に声をかけた。誰かに認めてもらい、販売に繋がったら嬉しいと思う方が大勢いる。高倉公民館で場所代 500 円を高倉スマイル広場にいただき、その方も幸せになり、私たちもありがたい。また、野菜や魚を販売することで、地域の方も楽しみにしている。

発 言 者	発 言 内 容
岡崎委員 (宮寺公民館)	いただきま〜すの会は、子ども食堂＝居場所として7年目を迎える。 参加者に全盲の方がいる。宮寺公民館は階段があるため、二本木分館を使用しているが、令和10年に廃止になってしまう。 当会では、子どもたち（幼児から中学生）と一緒に食育を行い、中学生はスタッフとしてお手伝いいただいている。上から目線ではなく、一緒に作ることを大切にしている。 宮寺で運営委員会があり、母子愛育会とスポーツ協会の方と話をした。母子愛育会とは、子ども食堂で幼児（3～4 歳）とお母さんが一緒にできる料理を検討している。スポーツ協会とは、一緒にボッチャを行うことを検討している。 夏休みに事業を行うため、スポーツ協会会長や母子愛育会会長にも参加いただき、ネットワークをつくることが多世代交流に繋がると考える。 宮寺地区も高齢者が多く、老人会も減った。私の自治会には子ども会がないので、いただきま〜すの会を子ども会と思い参加いただいている。 自治会の方が連れ添って退会する問題がある。コミュニケーションがとれる関係を築きたいが、「役員をやりたくない」「大変だった」という話を聞いて、自治会を抜けてしまう。様々な問題があるが、西澤議長のお話が参考になった。
双木委員 (金子公民館)	スポーツ協会会長を務めている。4月から金子公民館の職員が変わった。金子公民館で改修工事が始まり、現在使用できない。各団体は、近隣施設や農村環境改善センターで会議等を行っている。公民館職員が来ていただければ話ができるが、今現在来ていない。長寿会のゲートボール大会（6 団体 20 チーム）を実施したが、センター長は公務のため欠席だった。開会式は 8 時 15 分だったため、なぜ出席できないのか、という話をした。 長寿会は、年間 2 回、中学 2 年生とともに、うどん作りやゲートボール、グラウンドゴルフ、ボッチャなどの 2 時間授業を行っている。次回は、生徒が希望する内容で様々な場所に行くことを検討している。 スポーツ協会は、10 月に大会がある。参加しない自治会が増えてきた。休憩場所がないのという声があり、今年はテントやイス、机を用意することで、休憩場所が居場所になると考える。また、未就学児のかけっこを企画し、子育て世代と地域の方が交流できる場を作る。様々な企画をし、各自治会長に声を掛けていきたい。 8 月末までは金子公民館が工事中で活動が難しい。9 月まで延長になる気がする。活動ができないと、各サークルが徐々に減っていく。公民館が支援しないと文化協会も継続が厳しくなる。

発 言 者	発 言 内 容
木下副委員長 (藤沢公民館)	藤沢地区は、地域学校協働活動推進委員の「元気が出るふじさわ未来ネット」が世代間交流の中心になって活動している。この未来ネットは、約 10 部門ある。子ども食堂や高齢者の体操、藤沢中学校・上藤沢中学校の生徒を中心に農業体験等行っている。 提案だが、各地区で参考になる団体、サークルの代表をお呼びし、活動内容を参考にするのはどうか。先ほどの西澤議長のお話は、普段聞くことができないお話だった。
森田委員 (金子中学校)	昨年度より学校運営協議会や地域学校協働本部が始まった。学校は、地域の教育力を取り入れ、教育活動を充実させていきたい思いがあり、地域は、若い方がいないという悩みがある。学校には児童生徒と保護者（PTA）がいるため、マッチングすると何かい活動や連携ができるのではないかな。 地域学校協働活動は、学校のためだけではなく、地域が盛り上がっていくためのシステムだと理解をしている。様々な知恵を出し合い、足りないところを互いに補い合うとよいと考える。
伊與田委員 (扇町屋公民館)	久保稲荷分館では、公民館まつりが盛んである。コロナ禍前は、中学生が演劇をしたり、小学生が日本舞踊の発表会をしたりと盛り上がった 2 日間だった。新型コロナウイルス流行時は自粛し、一昨年、去年から人数を制限して、ファミリーコンサートを主催した。様々な年代の方が集まりにぎやかに開催されたが、発展や多世代との繋がりが無いまま終わってしまい、残念だった。機会があれば、世代間交流がうまれるようにチラシでの呼びかけやお渡し会など、何か企画が出来れば次に繋がると考える。
塚原委員 (東金子公民館)	10 月にスポーツ大会があるが、高齢化が進み、役員の業務負担や選手の選出が厳しいとの理由で役員数が減少している。 大会内容を検討し、親子で参加できる種目を実施したところ、多くのお子さんや保護者の方が参加した。子育て世代も参加できる種目を増やし、様々な世代と一緒に楽しむことができる内容を検討する。 最近、モルックという小さいお子さんもできるゲームを実施し、人気だった。
西澤議長 (黒須公民館)	伊與田委員の話を聞き、なぜ高倉スマイル広場を継続しているのかを考えた。 1 点目は、「高倉小学校の子どもたちを中心にしていこう」という運営委員の目的や目標がある。2 点目は、高倉スマイル広場は、公民館と共催で設立し、公民

発 言 者	発 言 内 容
	館と市民の力をいただき、4年間継続してきた。 今公民館に求めることは、共催事業。私たちが持っていない知恵が公民館にはあり、公民館にない知恵は、私たちが持っている。目的を決め運営委員も一緒に進めるとよい。 将来、若い世代が公民館と一緒に地域を担っていただきたい。高倉分館が廃止後、今からどうしていくのか。どこで活動するのか。どのような状況になっていくのかを頭の中に置かなければ、その時では間に合わない。 高倉スマイル広場は、若い方が運営委員を務めているため、学校の状況が分かる。入間市を元気にしていくためにみんなの力で頑張っていきたい。
伊與田委員 (扇町屋公民館)	久保稲荷分館が令和 10 年で廃止後、自治会や老人憩いの家の施設や部屋を借りることは可能か。
浅見部長	色々な方法があると思うが、自治会の場合は、自治会館は自治会が所有している。一方で、老人憩いの家は市の所有施設。自治会館は、自治会が柔軟に使用しているため、今後、地域の活動場所として使用することは考えられる。一方で、老人憩いの家は老朽化しているため、その地域の老人会や健康推進クラブの活動がなくなると、老人憩いの家も廃止になるという動きもある。地域ごとに状況は変わるかと思う。
伊與田委員 (扇町屋公民館)	久保稲荷分館から扇町屋公民館まで距離がある。年配になると車の運転も危ないため徒歩になるが、歩いて行けず、公民館活動も停止してしまう気がする。近くの公共施設で低価格で利用できたらと思い質問させていただいた。
浅見部長	地区センター分館の廃止に向けて、それぞれの活動をどうしていくのかを事務局として考えていく必要があると思う。公共施設や公共施設以外で利用できる場所があるかをご提案していければと思う。情報交換をしていきたい。
開坂委員 (西武公民館)	扇町屋公民館で川柳を行っている。扇町屋公民館の利用者説明会で「久保稲荷分館が廃止後、そこで活動しているサークルはどうなってしまうのか。」と扇町屋公民館長に聞き、「久保稲荷分館の方は、扇町屋公民館に来ていただき活動してください。」との話があった。久保稲荷分館から扇町屋公民館は遠いため、久保稲荷分館で行っているサークルは活動ができなくなり、恐らく団体が退会してしまう。分館を廃止せず残していただきたい。 分館を廃止するのであれば、それに見合った場所を考えていただきたい。

発 言 者	発 言 内 容
西澤議長 (黒須公民館)	何かご意見はあるか。
双木委員 (金子公民館)	活動場所等については、より身近な空き家を使うのはどうか。分館の廃止に向けて、公民館のバックアップ等の支援体制づくりを考えていただきたい。 子ども会が運営できないため、40～50 歳が集まり、子ども達のために餅つき大会や夏祭りを実施した。また、金子駅前の金子広場で桜祭りを開催し、多くのお子さんが来場した。ふるさとを思う気持ちを継続することが、地域コミュニティーに繋がるのではないかと思います。若い力のある世代を活かせる公民館運営を行っていただきたい。 定年が 60 歳から 65 歳に変わり、70 歳でも働ける職場があるため、公民館活動への参加が激しい。公民館の活動内容を周知し、地域の方にイメージを掴んでいただきたい。 放課後子ども教室でモルックを行った。子ども達と関わることを楽しみにしている。
西澤議長 (黒須公民館)	貴重なご意見をいただき感謝する。他にご意見・ご質問等はあるか。 質問なしのため、報告事項「令和 5 年度公民館事業報告について」及び「令和 6 年度公民館事業計画について」事務局から説明を願う。
奥村主幹	(「令和 5 年度公民館事業報告について」及び「令和 6 年度公民館事業計画について」説明)
西澤議長 (黒須公民館)	ただ今の説明について、質問はあるか。 質問なしのため、以上で本日の議題は全て終了したため、議長の座を下りる。
議事のとん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 6 年 7 月 31 日 議 長 の 署 名 <u>西澤 裕子</u>	